

Aikou

2024年12月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

「日々の祈り」

チャプレン 山田 和人

祈ることは、私の日課です。離れて暮らす家族のこと、登園するお友達のこと、園バスの安全な運行、教職員の健康と働き、能登にいる教会の人たちのことや、震災を経験した地域の人たちの日常生活の回復、戦禍の中にある人の大切な命、その中でも不安と恐怖に怯えている子どもや女性たち、高齢者や病气の人たち、障がいを負っている人たちのことを祈ります。そして、それぞれの願いが叶うように、神様が一人ひとりの痛みや苦しみに耳を傾け、応えてくださるように祈りを合わせます。あまりにも巨大な悪や、逆らうことのできない自然の脅威に人は立ち尽くしてしまい、抵抗する気力や現状を変えていこうとする勇気を持ってないことがあります。だからこそ祈ることが必要であるとの確信をもって日々祈ります。

祈ることを最初に教えてくれたのは、母でした。一つひとつ手解きをしてくれたということではなくて、その祈る姿を見て育ちました。イエスの母マリアは、年若くして他者とは違う数奇な運命をその身に引き受けることになりましたが、どんなことがあっても神の導きに従って生きていこうとする信仰の持ち主でした。この人あってこそ神の子メシアはこの世に誕生したのです。Merry Christmas!

「神様のご計画」

園長 富樫 立子

アドベントを迎え、クリスマスが楽しみになってきたと同時に今年も終わりが近づいてきました。今年公私ともに波乱な1年でした。信仰生活35年になりますが、神様は私を見放したか?と思うほど苦しい時もありました。特に幼稚園の休園はわたしにとって、大きな悲しみです。なぜ、私にこの大きな試練が与えられたのかと思いました。

しかし、日々子どもたち、保護者の皆様、先生方と共に過ごし、たくさん笑顔や成長、愛に触れているうちに、試練と思わず、感謝ととらえようと思うようになりました。自分だけ背負っているように思わず、皆がこのことにそれぞれの思いを持って向き合っていること、終わりではなく何か繋がる始まりなのかもしれないと、神様のご計画を信じ、前に進んで行こうと思うのです。毎日、子どもたちと共に「いつも守ってくださってありがとうございます」と神様に祈っています。神様は私たち一人ひとり、そしてこの愛香南部幼稚園も守ってくださっているのです。聖書のお話にはたくさん過酷な試練後に喜びが用意されています。試練は何十年と続くこともあります。信仰の先輩たちはそれに耐えてきました。クリスマスが近づくこの時、イエス様の誕生を喜び、感謝し、神様が計画されている方へに向き合っていきたいと思います。

ゆり

英語あそびのカーラ先生が大好きな子どもたち。先日の英語あそびの中でふと、「**どんまい!**」という言葉が子どもたちがつぶやくと…『それは、わたしの住んでいたアメリカでは言わないね〜』と言われてしまい「**どういこと???**」と不思議そうな表情を見せていました。よくよく聞いてみると、“Don't mind.”はオーストラリアで使われる言葉で、アメリカだと“Don't worry.”となるそうです。普段使っている英語でも、国によって言葉が少し違うということを知ることが出来たゆり組です。

12月に入ります。幼稚園でもイエスさまのお誕生を待つアドベントに入りました。これからクリスマスに向けて子どもたちと準備を進めていきます。イエスさまのお誕生をお知らせするページェントは、今年一人2役になりそうです。衣装を着替えたり、セリフを2役分覚えたりと少し大変な部分もありますが、誰も経験したことのないことを今年のゆり組はチャレンジします!温かく見守ってくださると嬉しいです。

氣谷 彩子



すみね

11月もお天気の良い日や雨上がりの晴れ間を見つけて、神様が作ってくださった秋の自然を満喫して遊びました。お散歩に行くと、松ぼっくりやどんぐり、赤や黄色の葉っぱ等、毎回、何かしらのお土産を拾ってきました。それを使って、『葉っぱのお洋服』『どんぐりマラカス』『木の実のケーキ』『落葉人形』等々を作って楽しみました。最近作る事が大好きになってきました♪

さて、参観の日も、お天気に恵まれ、お家の方とばら公園までお散歩に出かける事が出来ました。一緒に葉楓の実を拾ったりして、宝箱を作ったのも楽しかったようです。何より、いつもはママがいないお散歩に、ママがいることが嬉しくてハイテンションの2人でした。次の日、「**今日もばら公園行こう!**」と言うので「ちょっと遠いけど今日も行く?今日はママがいないけどいい?」と言うと「**じゃあ、ばら公園行かない。違うところで行い!**」と言うのが可笑しかったです。

急に寒くなり冬らしくなってきましたが、お散歩が大好きな2人です。お天気の様子を見つつ、寒さ対策をしながら、冬の自然を楽しみたいと思います。

宮崎 詩世

たんぼぼ

たんぼぼ組3人と担任で一つのテーブルを囲んでランチタイムを過ごしています。今のブームは「(口の中に)何が入っているでしょう?」ゲーム。今モグモグ食べているものが何かを当ててのです。食事中にいかがなものか?と思いながら様子を見てみると、担任の反応を見ながらいろんなものを口に入れるようになってきました。好きなものを口に入れてもすぐ当てられてしまうことに気づき、苦手な野菜をも口に入れてみるのです。「野菜苦手かなーと思って入っているとかわなかったよ」と担任。すると意外に食べられることに気づいてくるのです。このゲームをしながら青菜たっぷりスープを完食。本人も「**たべれるのすごいでしょ!**」とご満悦な表情でした。3人で競うようにゲームを楽しみ、ランチタイムはとても賑やかです。少しずつ担任とも打ち解けてきましたよ。

「猫ちゃんごっこ」や「ニンジン育てるごっこ」など新しく3人での遊びも生まれてきています。遊びを通しての楽しい経験を大切にクリスマスへの準備も進めていきたいです。



富樫 立子

くらす すけっち

あそびのなかから

ばふう公園(泉野第6公園)に行ったときのこと。「**せんせい、じゃんけんしよう!**」とニコニコの男の子。普通にじゃんけんしようとしたら…「**ちがうちがう。これだよ!**」と葉っぱを2枚と丸い石をひとつくれました。

「**大きな赤いカエテで、たくさんの葉の先が分かれている葉っぱがパー、葉の先が3つに分かれた黄色の葉っぱがチョキ、丸い石ころがグーだよ!**」とのこと。上手に見立てたね。子どもたちの想像力は驚かされます。最初はグー(これも丸い石)じゃんけんぽん!!選んだりすすめたりするときも時間はかかりますが、いつもよりゆっくりなじゃんけんになるのも面白かったです。

櫻井 真澄

